



# 全国珠算新聞

(1) 令和7年3月1日(土曜日)

(奇数月1日発行) (第670号)

## 開催案内

### 令和7年度 全日本珠算選手権大会



8月8日「そろばんの日」には、そろばん日本一を決定する令和7年度全日本珠算選手権大会が京都市「国立京都国際会館」で開催される。

例年同様、個人総合競技ほか、フラッシュ暗算・読上暗算・読上算・都道府県対抗競技が行われる。大会要項・参加申込書はホームページ新着情報「検定・競技」欄からダウンロードが可能。また、全珠連会報第196号にも掲載。

申込先：全珠連本部事務局  
申込締切：5月12日(月)必着

YouTube で公開中

全日本珠算選手権大会

検索



次世代のリーダーを育成

## 6年ぶりの開催！ 第8回人材育成講習会

令和6年12月22・23日の2日間、京都JAビル及びホテルエルシエント京都において支部から推薦を受けた34名の参加を得て行われた。コロナ禍により実施が見送られていたこともあり、実に6年ぶりの開催となった。(4面に「受講者の声」)

ナ禍の産物ともいえるオンラインミーティングを有効に活用したこと、各班の話し合いにブレインストーミング(複数人で行うアイデア発想法)を採用したことは今回の講習会での特筆すべき点である。

「第1日」  
開講式・3講座と「私のオススメ〇〇」あなたのイチ推しご紹介ください！  
緊張の面持ちで講習会場に集まった受講者であったが、オンラインでの事前ミーティングが功を奏し、すぐに打ち解ける様子が垣間見えた。オリエンテーション及び開講式の後、さっそく講座が始まった。

「第2日」  
1講座と各班発表  
「算教科に溶け込むそろばんの活用法」  
第5講座は澤田悦子珠算教育研究所長による「珠算教育者としての資質向上を目指して」。

「第3日」  
第1講座は工藤壽和理事長による「全珠連史」・山戸克弘副理事長による「組織の現状と運営」。連盟誕生からダウンロードが可能。また、全珠連会報第196号にも掲載。

この人材育成講習会は「珠算教育の現状を把握し、将来に向けてさらなる珠算教育の発展と連盟の飛躍に力を注げる人材の育成ならびに指導者間の絆を深めることにより、情報交換や協力体制を確固たるものとする」ことを目的としている。1泊2日の講習会を有意義なものとするべく初の試みとして、開催3週間前の12月2日、Zoomアプリにて受講生同士の事前顔合わせ及びグループディスカッションを行った。コロナ禍の産物ともいえるオンラインミーティングを有効に活用したこと、各班の話し合いにブレインストーミング(複数人で行うアイデア発想法)を採用したことは今回の講習会での特筆すべき点である。

「第1講座」  
開講式・3講座と「私のオススメ〇〇」あなたのイチ推しご紹介ください！  
緊張の面持ちで講習会場に集まった受講者であったが、オンラインでの事前ミーティングが功を奏し、すぐに打ち解ける様子が垣間見えた。オリエンテーション及び開講式の後、さっそく講座が始まった。

「第2講座」  
第1講座は工藤壽和理事長による「全珠連史」・山戸克弘副理事長による「組織の現状と運営」。連盟誕生からダウンロードが可能。また、全珠連会報第196号にも掲載。

「第3講座」  
第1講座は工藤壽和理事長による「全珠連史」・山戸克弘副理事長による「組織の現状と運営」。連盟誕生からダウンロードが可能。また、全珠連会報第196号にも掲載。

「第4講座」  
第1講座は工藤壽和理事長による「全珠連史」・山戸克弘副理事長による「組織の現状と運営」。連盟誕生からダウンロードが可能。また、全珠連会報第196号にも掲載。

「第5講座」  
第1講座は工藤壽和理事長による「全珠連史」・山戸克弘副理事長による「組織の現状と運営」。連盟誕生からダウンロードが可能。また、全珠連会報第196号にも掲載。

「第6講座」  
第1講座は工藤壽和理事長による「全珠連史」・山戸克弘副理事長による「組織の現状と運営」。連盟誕生からダウンロードが可能。また、全珠連会報第196号にも掲載。

## 珠の季節

広報委員  
となり8年  
目を迎え、  
以前に比べ  
「言葉」  
について普  
段から気にかけるよう  
になった。そこでよく  
耳にする、ことわざ・  
名言には実は意外な続  
きがあることを知り  
「有名な言葉」↓「続  
き」の順で記してみる。  
皆さんはいくつご存じ  
だろうか？  
「安全第一」↓「品  
質第二、生産第三」、  
「ちちんぷいぷい」↓  
「御世の御宝」、「根  
掘り葉掘り」↓「ごぼ  
うの根まで」、「子供は風  
の子」↓「大人は火の  
子」、「百も承知」↓  
「二百も合点」、「男は  
度胸、女は愛嬌」↓  
「坊主はお経」、「井の  
中の蛙大海を知らず」  
↓「されど空の深さ  
(青さ)を知る」、「一  
富士二鷹三茄子」↓  
「四扇五煙草六座頭」、  
「少年よ大志を抱け」  
↓「この老人のよう  
に」、「地球は青かつ  
た」↓「しかしここを  
見回しても神はいな  
かった」、「早起きは三  
文の徳」↓「長起きは  
三百の損」、「天は人の  
上に人を造らず人の下  
に人を造らず」↓  
「中略」ただ学問を勤  
めて物事をよく知る者  
は貴人となり富人とな  
り、無学なるものは貧  
人となり下人となるな  
り：、「百聞は一見に  
如かず」↓「百見は一  
考に如かず・百考は一  
行に如かず」、「やっ  
てみせ、言って聞かせ  
て、させてみて、ほめ  
てやらねば、人は動か  
じ」↓「話し合い、耳  
を傾け、承認し、任せ  
てやらねば、人は育た  
ず。やっている、姿を  
感謝で見守って、信頼  
せねば、人は実らず」  
最後の言葉は連合艦  
隊司令長官の山本五十  
六の名言であるが、指  
導者たるものこの言葉  
を心に刻み、これから  
入ってくる新入生を歓  
迎したいと思う。  
(樋口 賢)

## 3月の紙面

- 2面 オンライン記者発表  
会開催
- 3面 第71回全国珠算研究  
集会開催迫る
- 4面 第8回人材育成講習  
会受講者の声
- 4・5面 珠のたより
- 6面 世界の珠算教育事情

# オンライン記者発表会 開催

## ～珠算学習と中学受験の関連を探る アンケート結果発表～

### 中学受験のトピラを開くそろばん教育

令和6年11月20日、東京・渋谷区「株」CloverPR」を会場にメディア向け記者発表会がオンライン形式で開催された。

この催しは全珠連パブリシティ事業の一環として、東京都支部の協力を得て、支部会員の教室に通う生徒の保護者から「習い事に珠算を選ぶ意識調査」を実施し、珠算学習と中学受験との関連性を探った(348名が回答)。

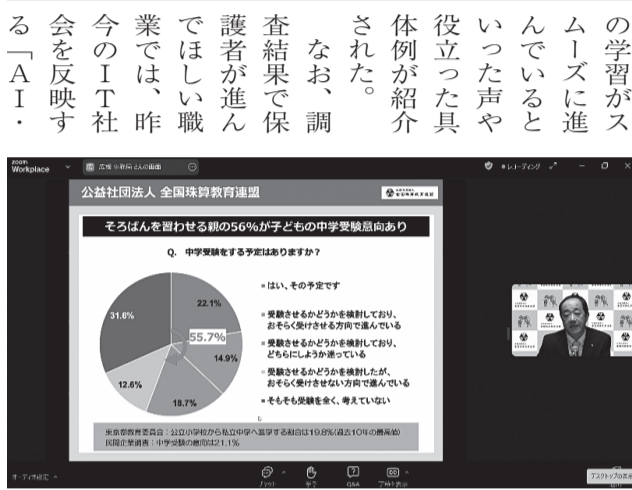
当日は、前田珠樹理事(研修学教委員長)が発表者として登壇し、分析結果の説明と「IT時代におけるそろばん」として、全珠連の活動と昨今のそらばん

事情を解説し、「中学受験に珠算教育が有用であること」をアピールした。

前田理事の教え子で、地元・愛知県の現役中学生によるコメントも紹介され、一定期間の珠算学習によって数学の学習がスムーズに進んでいると、いった声や、役立った具体例が紹介された。

なお、調査結果で保護者が進んでほしい職業では、昨今のIT社会を反映する「AI・

そらばんでめめた才能 呼び起こせ・前田珠樹理事が解説



そらばんでめめた才能 呼び起こせ・前田珠樹理事が解説

発表会には「毎日新聞社」や「マイナビ」など、メディア関係者15名が参加した。掲載記事は連盟HPで紹介。分析結果については全珠連会報第196号に掲載。

### 現職教員対象 珠算研修会

令和6年11月14日、大阪市教育委員会主催の令和6年度現職教員対象珠算研修会が、大阪市立大道南小学校で開催された。

3年生の児童40名を対象にした公開授業「そろばん学習」を45分、その後、大阪市の教員26名を対象に「そろばん学習の授業づくり研修」を約2時間行った。

そらばんとしっかり 向き合う研修を受ける機会がなかった若い先



恒例の研修に大阪市の教員26名が参加

という間に終了した。当日の感想は次のとおり。

◇そろばんは、そのうちなくなるんじゃないかと思っていました。しかし、やってみても便利なのが分かったし、楽しかった。この楽しさを子供たちにも伝えていきたい。さらばんの学習に不安がありました。でも楽しく研修を受けていただきました。3・4年生の学習にしっかりと役立てたいと思います。

◇そろばんの知らない最大公約数・最小公倍数の計算などを知ることができたし、指導の仕方も大変勉強になりました。有意義な時間と研修でした。

◇初めてそろばんのやり方を知りました。たくさんの学びやしくみの凄さに驚きを感じました。子供たちへの声かけの仕方もすごく参考になりました。

教育委員会からの依頼は20年以上になるが、若い先生方がそろばんの持つ有用性を感じて授業を進めてもらえるように今後も取り組んでいきたい。

### 第50回

## 理事会

令和6年12月8日開催 於「全珠連本部事務局」

### 〈審議された主な議案〉

- ◎令和7年度事業計画及び予算編成の基本方針策定の件
- ◎令和7年度主要事業日程承認の件
- ◎令和7年度受験者増加対策の件
- ◎総務委員会答申の件
- ◎学術顧問推薦の件
- ◎研究表彰・研究奨励審査の件
- ◎令和8年度珠算検定試験実施日の件
- ◎会費規程(会費納入)第5条第2項の修正の件
- ◎会員増加対策の一助の件
- ◎全日本通信珠算競技大会実施規程及び運営要領一部改正の件
- ◎理事長専決事項の件
- ◎会員からの特別申請の件
- ◎事務局長選任の件
- ◎新入会員承認の件

### 本部事業予定

- 3月23日 第426回珠算・暗算検定試験 全国一斉
- 3月29～30日 第71回全国珠算研究集会 オンライン
- 4月15日 本支部連絡協議会 オンライン
- 4月27日 珠算検定試験(4～準6級) 全国一斉

## 論点

急激な変化に伴い、複雑化するさまざまな課題への対応が必要となっている現代社会、珠算界においてもそれらを無視して考えることはできなくなってきました。複雑で将来の予測が困難な時代であるからこそ、未来を生き抜く子供たちの資質・能力の向上が必要となります。

現代の学びで『個別最適な学び』と『協動的な学び』が一体的に充実されていることの重要性が叫ばれて

## 珠算教育における今後の課題

### 質の高い教育を目指す

たことも協動的な学びの一つと言えるのではないのでしょうか。

しかし、近年、学習者の能力差は大きくなっており、それに対応する指導者の資質が問われる時代となりました。また、子供たちの学びの多

楽しさを感じさせることのできる指導の確立、それらを加味した珠算教育の今後を見据えた取り組みが重要です。そして、幅広い知識と柔軟な思考力を持ち、その知識・思考力を活用できる珠算界の将来を担う若手

育成も課題となります。これからの学校は、21世紀を生き抜くための力を育成するため、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを試して上手に

現力等の育成や学習意欲の向上を目指しています。多様な人間関係を結んでいく力や習慣の育成は珠算教室の得意とすることと言えるでしょうし、珠算教育の付加価値の一つでもあります。

『さまざまなものを試して上手に』といったものを残す。珠算指導が確立された感がありますが、まだまだ珠算教育には多くの可能性が残っています。出てきたアイデアを形にし、失敗したらまた挑戦する、そんな姿勢を持ち続けられれば楽しい指導人生を歩めたと思えることでしょう。過去の成功に奢ることなく、珠算教育に対する飽くなき好奇心を持ち、失敗を恐れず、将来を見据えた、質の高い教育を目指していきましょう。

(丹野知行執筆委員)

令和7年度 主要事業日程表 (予定)

Table with columns for date, event name, and location. Includes events like '第428回珠算検定試験' and '第430回珠算検定試験'.

オンラインにて開催！ 第71回全国珠算研究集会開催迫る

第71回以降は、オンラインと会場の交互開催とすることが決定し、来る3月29日、30日はオンラインにて2日間の日程で全国珠算研究集会が開催される。

コロナ禍のなか開催された、連盟初のオンラインによる第68回全国珠算研究集会が成功を収め、遠方で参加が難しかった方や育児・介護中の方でも参加可能な今研究集会に期待が高まる。

開催内容は次のとおり。

第1部 3月29日(土) 9:45~12:30

第1講座 学ぶ・そろばん ~日本そろばん資料館 ホームページを起点として~ 島岡 成紀氏 (珠算教育研究所研究員)

第2講座 楽しい嬉しい大好きそろばん ~一生懸命より一笑懸命~ 宮城三四郎氏 (沖縄県)

第2部 3月30日(日) 9:45~12:30

第3講座 あんさん時々そろばん ~初歩指導から選手育成まで~ 青木 龍輔氏 (愛知県)

第4講座 そろばんが教えてくれた「生きるチカラ」 ~失敗からの再起、そして未来ある子どもたちへ~ 壺井 英貴氏 (香川県)

新春恒例 はじき初め大会 大阪天満宮

1月3日、大阪府北区・大阪天満宮にて、新春恒例の大阪府珠算教育連合会主催「新春そろばんはじき初め大会」が開催された。有名な日本三大祭りの天神祭が行われ、学問の神様として崇められる菅原道真公が祀られている平安時代創始の大阪天満宮には、早朝から開始を待つ約600名の参加者やご家族の長蛇の列。多くの参拝者がいる境内には、毎年恒例水色の法被を羽織った大勢の先生方が

参加者を迎え入れようとしていた。鮮やかな法被のような青空のもと、開始予定時刻より前倒しで始まり、記念タオルで鉢巻きを締めた参加者が次々と、まさに「巳」のように長い、180cm、127桁のそろばんが置かれている席に着き、神主さんからお祓いを受けた後、



約600名の参加者による長〜いそろばんでの読上算が順番に入れ替わりで行われ、瞬間に終了した。今年も無事大盛況のうちを終了した。一般参拝者の方々から「長いそろばんや！」という声が多々聞こえ、大勢の参拝者が訪れる大阪天満宮

マイクを片手に法被を着た先生方が読む心地よい読上算の声を聞きながら、熱心にそろばんをはじいた。記念品を受け取った参加者たちは、緊張な面持ちながらも一変、笑顔がこぼれていた。参加者が順番に入れ替わりで行われ、瞬間に終了した。今年も無事大盛況のうちを終了した。一般参拝者の方々から「長いそろばんや！」という声が多々聞こえ、大勢の参拝者が訪れる大阪天満宮



先日、健康のためのウォーキング中に四国八十八ヶ所第17番札所井戸寺に立ち寄ると、賑やかなお囃子が聞こえてきました。境内に入ると、法被姿の小学生たちが阿波踊りで迎えてくれました。彼らは小学6年生で、「地元を盛り上げる」というテーマで授業を行い、お接待活動の一環として井戸寺を訪れていました。

法大師空海の足跡をたどるこの巡礼は、多くの巡礼者にとって心の安らぎと自己の再発見の旅です。お接待とは、巡礼者に対して飲食物や休憩所を提供し、心温まる

私も「肩をもませてください」と声をかけられ、かわいい手で肩をもんでもらうことにしました。さらに、井戸寺にまつわる歴史的なクイズにも挑戦しましたが、残念ながら全問不正解。それでも手作りのパンフレットや「道中安全」のお守りをいただき、温かい気持ちになりました。県外から来た巡礼者もお守りや折り鶴を受け取り「気をつけて行ってらっしゃい」と笑顔で見送られ、大きく手を振り返していました。思いがけないかわいい出会いに驚き、この素晴らしい文化が子供たちに受け継がれていることをうれしく感じました。

かわいいお接待

徳島県 鎌田 章子

四国八十八ヶ所は、四国地方にある88か所の仏教寺院を巡る巡礼路で、1200年以上の歴史があります。弘

たぐさんの生徒がそろばん教室に通い、がんばっています。そろばんを学ぶ目的は、「算数」の成績向上、検定試験上位級に合格すること、競技会に出場することなどを挙げることができません。もつとプライマリーな観点から考えてみようと思います。 誰でもそろばん教室に通っていたら、そろばんの実力とともに必ず身につくことがありません。それが次に挙げられる「そろばんの効用」です。①「計算する力」かけ算・わり算・見取りなど基本計算を学ぶことにより数字に強くなる ②「集中する力」制限時間の中で神経を集中し全力で問題に取り組む ③「記憶する力」珠算式暗算を学ぶことにより右脳・左脳のトレーニングになる ④「情報を処理する力」数字処理能力・文字処理能力のトレーニングになる ⑤「忍耐力」難問に接し脳をフル回転させ、計算問題に取

そろばん 童師

そろばんを学ぶと得られるもの

活動ではないかと改めて感じた。 り組み結果を出す ⑥「速く聴き速く読む力」読上算のときなど問題を即座に聴き、正しく計算する ⑦「注意深く観察する力」集中力とともに、数字を注意深く観察する ⑧「イメージやヒラメキの力」問題を見て即座にどのような順に計算するかを判断する

# 第8回 人材育成講習会

## 受講者の声



栃木県  
福田 真希氏

今回、大変有意義な人材育成講習会に参加させていただき、充実した時間を過ごさせていただきました。

初めは、初対面の先生ばかりで、不安も大きかったのですが、熱意ある先生方からたくさんの刺激を受け、1泊2日とは思えないほどの濃厚な時間を共有でき、大切な糧となる



経験させていただけたいこと、心より感謝申し上げます。  
私としては、常に全力で授業を行っているつもりでしたが、他の先生方の意見や、学校の現状のお話を聞いて、もつとできることがあるはずだと、自身や教室運営について見つめ直す機会をいただきました。

岐阜県  
武藤 雅彦氏

今回の講習会で最も有意義に感じたことは、事前に行われたZOOM会議です。講習会中に行われる班ごとの発表の事前準備のために、全国各地の先生方と意見交換の場が自動的に設けられたこと、この



先生方のお話を聞くばかりであると思いましたが、自分たちが発表の場に立つ機会をいただけることで

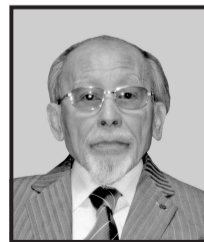
鳥取県  
高原 千賀子氏

この講習会に参加して全国に仲間ができたことが私の一番の収穫だったと思います。今回からZOOMによる事前ディスカッションが行われ、前もって同じ班の先生方と度々意見交換することができました。



充実した講座は、いざいざも本心に勉強になりました。一番心に残っているのは、岡久副理事長の講座です。初めに基礎を指導しながら、次は自ら考えさせ、問いを見つけてさせることが大事との話があり

そが  
本部顧問 曾我 和二郎氏  
わさぶろう  
逝去される



去る1月27日、全珠連本部顧問の曾我和二郎先生(三重県)が逝去された。享年96歳。先生は昭和29年4月に全珠連に入会され、昭和49年から54年まで三重県支部長、55年から63年まで理事を務め、

もらえず、生徒の様子をよく見ること、そして合格点や能力だけを褒めるのではなく、努力こそを褒めてあげることが大事だと教えていただきました。他にもいろいろな刺激や気づきをいただき、この講習会に参加できてよかったです。

# 珠のたより

地域発 そろばんニュース

## 第48回チビツ子そろばん祭り

東京

1月19日、湯島天満宮にて「第48回チビツ子そろばん祭り」が開催されました。昨年より大幅に参加者が増え、今年も90名の生徒が参加しました。

定期通りに始まり、本殿にて神主さんのご祈禱で、珠算技術の向上を祈願しました。普



道真公に願ひましてはそろばん上達



4mの巨大そろばんでゴメイサン

段なかなか体験する機会がないことなので、子供たちは緊張した面持ちでした。その後、フラッシュ暗算を使ったゲームやリレー形式の計算が行われ、皆、笑顔で楽しんでいました。特に、

4mほどの長いそろばんを使った読上算は迫力満点で、子供たちも目を輝かせながら挑戦していました。また、そろばんの珠

ちが初めて担ぎ、大きな声で「ワッショイワッショイ」と元気いっぱい盛り上がりつつありました。当日は7社ものメ

## 珠算指導者講習会

### 〈演題〉スクールカウンセラーの玉手箱 〜子供たちとの対話のエッセンス〜

広島

令和6年12月1日、広島県珠算会館において、臨床心理士・公認心理師の勝部奈美先生を講師にお迎えして

珠算指導者講習会を開催した。先生はスクールカウンセラーとして、現在は中学校と大学で教育活動をされており、私たちの日々の珠算指導に活かせるように、子

供たちの現実と具体的な活動・対応のポイントを事例に挙げ、丁寧に教えていただいた。先生が子供たちに願うことは、自分を理解し、自分を信じて自分で自分を助けられる健康な心を持ってほしい、健やかな心を育てたい、けるように「指示(指導)の前に支持(理解)から」子供たちの心の土壌がしっかりと育つように支えて理解することが大事であると話された。

子供たちとの対話のポイント、まず安心感を与えて心を開かせると、本人に表現させる・押しつけず選ばれる、子供の力を信じる対応が心の成長につながるのを感じた。

最後に塾内の生徒の気がかりな事例などとともに、対応のアドバイスをいただき、すぐにも実践したいと皆、熱心に聞き入った。カウンセリングの力で勝部先生からエールをもらえた大変有意義な講習会であった。



スクールカウンセラーから学ぶ子供たちとの関わり

開催地から3名の選手宣誓  
第47回北海道珠算選手権大会

北海道ブロック

1月12日、旭川トヨホテルにおいて道内6支部より160名の選手が集結し「令和6年度第47回北海道珠算選手権大会」が開催されました。

道北支部より旭川市立緑新小学校・阿垣心優さん、北海道教育大学附属旭川中学校・佐々木統野さん、下川町立下川中学校・三浦が初優勝、読上算競技は、3大会連続8回目、フラッシュ暗算競技は、8大会連続8回目で、日高信用金庫・浅野貴広選手が見事2種目の優勝に輝きました。

総合競技は、札幌南高校・永井悠聖選手が初優勝、総合競技小学生以下の部は、2大会連続2回目、札幌市立東園小学校・若松咲菜選手が優勝、読上暗算競技は、江別市立大麻中学校・井伊俊介選手が初優勝、読上算競技



マイナス8度の極寒の地で白熱の戦い

は、3大会連続8回目、フラッシュ暗算競技は、8大会連続8回目で、日高信用金庫・浅野貴広選手が見事2種目の優勝に輝きました。

光輝

全珠連検定試験  
十段位合格者  
第424回  
(令和6年11月24日実施) 敬称略

〈珠算 7名〉

- 青森県 濱中天之介 (小3 9)
- 青森県 佐藤心菜 (中3 14)
- 鹿児島県 九万田裕太 (小5 11)
- 大阪府 石野陽士 (小6 12)
- 長野県 中村明日香 (小5 11)
- 沖縄県 與那嶺歩季 (中3 15)

全珠連ホームページで合格者の声を掲載中  
そろばんのチカラ 検索

- 沖縄県 比嘉海翔 (高1 16)
- 東京都 高橋享杜 (中1 12)
- 東京都 浅野嘉維 (小4 9)
- 東京都 野口芽以 (中3 14)
- 東京都 高林君宇 (高2 16)

〈暗算 18名〉

- 静岡県 内田琴菜 (中1 13)
- 鳥取県 吉岡更紗 (高1 16)
- 鳥取県 八谷早祐 (小6 12)
- 愛知県 浅野友理佳 (中2 14)
- 鳥取県 中野佑太 (高2 17)
- 神奈川県 安保羽菜 (中1 13)
- 鳥取県 山道宥輝 (中2 14)
- 三重県 堤莉央 (中2 13)
- 三重県 安達悠成 (小6 12)
- 三重県 宮田拓門 (小6 12)
- 三重県 中村颯佑 (小6 11)
- 三重県 加本紗悠 (小4 10)
- 東京都 高橋享杜 (中1 12)
- 東京都 浅野嘉維 (小4 9)
- 東京都 野口芽以 (中3 14)
- 東京都 高林君宇 (高2 16)
- 東京都 高橋享杜 (中1 12)
- 東京都 浅野嘉維 (小4 9)
- 東京都 野口芽以 (中3 14)
- 東京都 高林君宇 (高2 16)
- 東京都 高橋享杜 (中1 12)
- 東京都 浅野嘉維 (小4 9)
- 東京都 野口芽以 (中3 14)
- 東京都 高林君宇 (高2 16)

山口県小学生珠算競技大会

山口

旭川市はマイナス8度と大変寒い中、会場では選手たちの熱戦の結果発表に大きな拍手が送られました。来年は札幌で開催予定です。

山口県はマイナス8度と大変寒い中、会場では選手たちの熱戦の結果発表に大きな拍手が送られました。来年は札幌で開催予定です。



日々の努力の賜物 圧巻の熱戦

種目別競技はフラッシュ暗算・読上暗算・読上算が行われ、練習の成果を発揮しました。年長さんからの参加でしたが、休憩を除き5時間、席に着き集中できる姿は頼もしいです。

大会の最後にはアトラクションとして支部長の提案で全選手参加の簡単な読上暗算が行われ、正解者の10人にお楽しみ賞が贈られ、大盛況のうちに競技会を終えました。

兵庫

珠算指導者講習会

〈パネル討議〉私の教室紹介  
演「みんな違ってみんな良い 第2弾」



三者三様、各先生が教室の特色を説明

また、幼児への対応、かけ算・小数・応用計算・開平等の指導方法を教室で撮影された動画や実際に大そろばんを使って教えていただきました。

また、幼児への対応、かけ算・小数・応用計算・開平等の指導方法を教室で撮影された動画や実際に大そろばんを使って教えていただきました。

また、幼児への対応、かけ算・小数・応用計算・開平等の指導方法を教室で撮影された動画や実際に大そろばんを使って教えていただきました。

ちよつと いい話

そろばん

道北 古川 賢司

1月3日の北海道新聞旭川版「いずみ」という欄に「そろばん」という題名で投稿されているのを目にしたので紹介したい。投稿者は60代の女性で、上川管内東川町に住んでいた小学5年生のとき、日曜日の朝食後に母親から突然「そろばん教室に行っておいで」と言われ頭の中はいっぱいの「マーク。すでにかばんの中には叔母さんが使っていたそろばんが用意されていたらしい。行って見たら塾の先生はとてもきれいなお姉さんで、狭い教室には同じ小学校の仲間がずらりと50名ほどいて、そろばんの珠をはじく音がパチパチ、ジャーンと聞こえていたとのこと。先生の優しく丁寧な指導に、母親に突然行くように

もありません。三者三様のお話はまさに「みんな違ってみんな良い」で大変参考になり、すぐに自教室に取り入れてみました。内容でした。常に向上心を持たれて新しいことに挑戦される先生方の教室の様子がわかり、貴重で有意義な時間となりました。

# 世界の珠算教育事情

NPO 法人 国際珠算普及基金より

優れた数学者を多数輩出している、ハンガリーの珠算教育について紹介したい。

ハンガリーにおける珠算教育は、英国を中心に欧州各地で精力的に珠算の紹介・普及活動を継続されているマルカリアン君校長が要請を受け、首都ブダペストのタレントファンテーション小学校を訪問し、珠算指導を実施したことに端を発する。同時に小学校の先生方に対する講習も実施し、小学校で指導することを意識した普及活動が展開された。珠算教育が導入されて間もない 1994 年から 1996 年までは青年海外協力隊員が駐在し、隊員のアドバイスにより、検定試験や競技会を実施するようになるなど着実な発展を遂げている。

同国の珠算教育を語るうえで忘れてはいけないことは「考える問題」の存在である。一例を挙げると「3つのそろばん珠を使用し、表すことができる『2桁の数』はいくつありますか?」といった問題で、学年別に実施されている全国大会においても同様の問題が出題されている。

日頃はなかなか意識しないことであるが、海外の珠算教育を調べることで、そろばんが単なる「計算道具」ではなく、優れた「教具」であるということを再認識した次第である。



## 「そろばんイラストコンテスト」 作品募集

全珠連広報委員会では今年度も「そろばん」にちなんだイラストを下記の要領で募集します。  
皆さんの自由な発想をぜひとも形にしてください。

### 〈募集要項〉

#### テーマ

「そろばん」にちなんだイラスト (そろばん必須)

#### 応募方法

1. 応募用紙に描画する場合  
応募用紙に描画し、必要事項をご記入のうえ、下記送付先までご郵送いただくかスキャンしたものをメールにてご送信ください。  
※応募用紙は連盟HPからもダウンロードが可能です。
2. 画像作成ソフト等で描画する場合  
メールに画像ファイルを添付し、氏名 (ふりがな)・学年 (年齢)・会員名・教場名を入力のうえ、ご送信ください。

#### 送付先

〈郵送〉〒601-8438 京都市南区西九条東比永城町28  
「公益社団法人全国珠算教育連盟 広報担当係」  
〈メール〉zenshurenkouhou@soroban.or.jp  
※件名に必ず「イラストコンテスト応募作品」とご入力ください。

#### 応募期限

令和7年5月30日 (金) 必着

#### 審査

1. 全珠連広報委員会において厳正に審査し、優秀作品を決定いたします。なお、優秀作品にはQUOカードを進呈します。
2. 優秀作品は、ジュニア部門 (小学4年生以下) から2作品、一般部門から8作品を決定いたします。

#### 著作権

1. 応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。
2. 応募作品の著作権は当連盟に帰属し、各広報物等に使用することを予めご了承ください。

#### その他

1. 応募作品は返却いたしません。
2. 優秀作品は氏名等とあわせて全国珠算新聞 (令和7年9月号)、連盟HP等で発表を予定しております。
3. 各広報物等へ使用する際に、氏名等を掲載する可能性があることを予めご了承ください。
4. 取得した個人情報等は適正に管理し、本件に関する目的以外には使用いたしません。



## ♪集まれ! キッズ 二刀流♪

### そろばんとドッジボール

さとう ゆうせい  
高知県 佐藤 佑星くん 12歳 (小6)

〈そろばん〉  
珠算七段  
暗算九段

〈ドッジボール〉  
10才から始める  
神田スマイルファイターズ所属  
令和6年夏の全国小学生ドッジ  
ボール選手権出場 (in茨城)



6才から始める  
高知県暗算中央大会6年連続学年1位  
令和6年小学生高知県1位  
全日本珠算選手権大会出場

#### ◎二刀流にあたり意識していること、工夫していること

珠算や暗算は7分や3分で、ドッジボールは5分という決められた時間でいかに集中できるか!似た要素があると思います。決められた時間の中で集中してできることが面白いです。

また、そろばん教室の松岡先生や神田S Fのチームの支えや指導によって続けることができていることに感謝しています。

#### ◎今後の目標

小学生最後の学年なので後悔しないように全力でがんばりたいです。

#### ◎先生からひとこと (松岡 律子氏)

素直で向上心にあふれ、何事にも積極的に取り組む佑星くん。全日本珠算選手権大会、都道府県対抗競技での「はい!」という元気な挙手が忘れられません。先輩方や仲間から多くの刺激を受けて、さまざまなことに挑み、たくましく成長されることを応援しています。

「一つの道は全てに通じる!」



答えは連盟HPの「新着情報(ニュース)」を見てね! (3月中旬公開予定)

そろばんのチカラ  検索

—いくつか見つけられるかな?—

## まちがいがし☆☆

29回目のテーマは「卒業式」まちがいが10コあるよ!

